

3. 磯部八幡宮



江戸時代初期に制作された木造の不動明王坐像(市指定有形文化財)を安置する不動堂があります。

4. 史跡勝坂遺跡公園



勝坂遺跡(国指定史跡)は縄文時代中期の大集落跡で、照葉樹林を保護し、復元住居2棟と敷石住居のレプリカなどが整備されています。

5. 勝源寺の青面金剛・六本庚申のミニチュア



勝源寺の六本庚申は養蚕の神様です。4月の初庚申の日頃に行われた祭りは大変賑わいました。お参りした人は焼物の六本庚申のミニチュアを借りて養蚕の期間は家で祀り、秋に養蚕が終わるとお礼に来て返しました。(※通常、一般公開はしていません)

6. 石楯尾神社



磯部勝坂地区の鎮守として集落を見下ろす丘の頂きにあります。

庚申塔群



六本庚申で賑わった勝源寺に関わる多くの庚申塔が並んでいます。このコースには数か所で見られます。

12. 磯部の頭首工



昭和15年に完成した相模川左岸用水路の取水口です。

13. 新三段の滝



この付近から相模川と丹沢の山々の美しい風景が見られます。

庚申塔	庚申信仰の供養塔で、文字塔や青面金剛が彫られたものが多く見られます。
道祖神	村の境に立ち、地域の人々や旅人を外敵や疫病から守ります。「賽の神」とも呼ばれ、双体の像や文字塔が一般的です。
地神塔	地神塔、堅牢地神などの文字が記され、農業、大地の守護神とされています。
馬頭観音	当初は仏教的な造立でしたが、しだいに農村部などでは馬の供養塔や墓標的な性格を持つものが増えてきました。市内でも地蔵や庚申塔とならんで数多く見られます。
六字名号塔	「南無阿弥陀仏」の名号が記されています。
大山不動・道標	江戸時代中期以降盛んになった、大山詣でに向かう旅人の為に大山道に建てられた道標です。

※このマップは、相模原市立博物館で結成された市民の会である「民俗調査会」がフィールドワークを行って作成したものです。(平成24年3月)